

日出町

生活環境課

●平成22年4月に庁舎屋上に設置した太陽光発電システムは、毎年約22,000kwhを発電し、庁舎で使用する電力の5%をまかなっています。また庁舎の電力使用を抑制するため、電力管理システム（デマンドコントロール）により、一定以上の電力が必要となった場合には、エアコンが自動的に切れるようにし、節電及び電気料金の削減に努めています。庁舎だけでなく、小田城浄水場や豊岡小学校屋上にも太陽光パネルを設置し、自然エネルギー活用の取り組みを行っています。このほか、庁舎室内の温度を下げる効果として、窓ガラスの遮熱コーティングや、庁舎のグ

リーンカーテン化も行いました。また庁舎内の照明や町内の街灯は順次LED化を進めています。このような町の節電・省エネ対策の取り組みを広報誌等により、住民啓発しています。

● 公用車購入として、ハイブリッド車やエコカーを購入し、CO₂削減及び経費削減に取り組んでいます。今後は電気自動車の導入を進めています。

● ごみの減量化を図るため、電気式生ごみ処理機やコンポスト購入の補助やマイバック持参推進、レジ袋削減啓発を行っており、温暖化対策地域協議会や広報誌・ホームページ等を通じて、家庭から出るごみの減量化を推進しています。

また、リサイクルを促進するため、使用済小型家電の回収や分別の徹底、地域の任意団体による集団回収の推進も行っています。

佐伯市

市民生活部 環境対策課

1. 省エネルギー普及推進

家庭でのゴミ減量や節電、エコドライブなど、市民一人ひとりが身近に取り組める活動を「エコ活動」シリーズとして毎月1回市報に掲載し、呼び掛けを行っています。

2. 自然環境調査

希少な動植物の保護などのために、市内に住んでいる動植物の生息・生育状況を専門家に委託し調査を行っています。それにより、地球温暖化の影響で南方の動植物の生息域が北上しているのかどうかわかります。

3. 3Rの推進

循環型社会の形成をめざし、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rを推進するために以下のことを行っています。

①平成20年から飲食用ビン・カンの有料指定ごみ袋制を廃止し、ペットボトルと併せて「資源ごみ」として分別し無料回収を行っています。無料化したことで分別がより正しく行われるようになり、リサイクルが推進されるとともに、ごみの減量化（リデュース）にもつながっています。

②生ごみの減量化と堆肥化を目的として、生ごみ処理容器（コンポスター等）を無償で貸与しています。また、購入費用に対する補助を行っています。

③3Rについて、市報に掲載したり、地区で出張講座を開くなどして、呼び掛けを行っています。

4. ごみ焼却余熱の利用による発電（H15年3月～）

ごみ処理施設でごみを焼却した際に発生する熱を利用して蒸気を発生させ、タービン発電をすることによる「サーマルリサイクル」を行っています。年間約800万kWを発電し、そのほとんどを工場内で消費しており、省エネにつながっています。

5. レジ袋廃止の取組とマイバッグの普及

レジ袋を削減することは、ごみの減量や地球温暖化の防止に大きな意味をもつとともに、原料である石油資源の節約につながることから、市内20店舗で平成21年6月からレジ袋無料配布を中止しています。市内のマイバッグ持参率は84.2%（平成28年8月現在）となっています。

6. 健全な森づくりに向けた取組

市の86パーセントが森林で、二酸化炭素の吸収源として森林を保全することは、地球環境の問題を考える重要な要素となります。人工林の管理の適正化、木を伐採した後の植栽やシカの頭数管理などをすすめています。

7. エコ推進員制度

エコ推進員制度は、市役所の全課に1名ずつエコ推進員を置き、職場だけでなく、家庭でのエコ活動を推進する制度です。全市職員及びその家族が地球温暖化問題を意識して行動し、四半期に一度エコ課計画による行動の振り返りを行っています。



8. 緑のカーテンの取組（平成24年度～）

5月に、緑のカーテンとなるゴーヤの苗を市民に無料で配布しています。また、各地区公民館などの公共施設でも緑のカーテンを実施しています。

9. 環境学習会☆クリーンアップ事業（平成25年度～）



市民・事業者・行政の三者からなる協働組織「さいき903エコ推進会議」を中心に、年に一度、地球温暖化対策に関する環境学習会を開催し、学習会終了後に会場周辺のクリーンアップを行っています。

